3-866-136-**01**(1)

高倍率テレコンバージョンレンズキット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VCL-FS2K

はじめに

主な特長

- ソニーのビデオカメラレコーダーに取り付けると、お手持ちのビデオカメラレコーダーの10倍の拡大映像を記録することができます。
- 付属の目視用接眼レンズを取り付けると、20倍の拡大映像を見ることができます。

CCD-VX1とDCR-VX1000は、別売りの接眼レンズキットVCL-V10FSと組み合わせるとお使いいただけます。

このマークはソニー（株）ビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

目次

準備

操作

その他

⚠警告 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**
- **万一異常が起きたら**

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。**

直接太陽を覗かない

目を痛めたり、失明の原因となることがあります。

禁止

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。**

陸上で運ぶときに落とさない

けがの原因となることがあります。

禁止

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

ビデオカメラやテレスコープを三脚に取り付けるときは、充分注意を払う

注意を怠ると三脚が倒れてけがの原因となることがあります。

注意

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

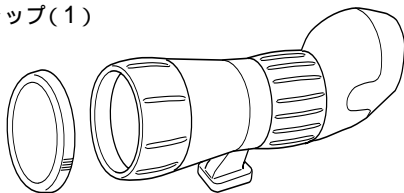
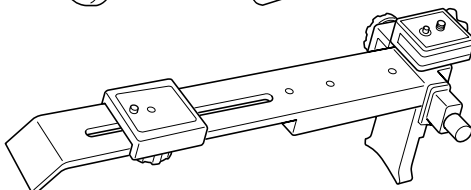
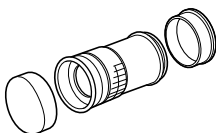
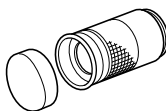
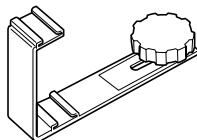
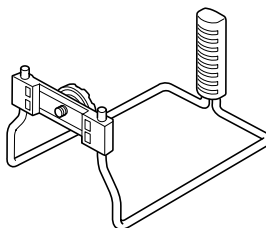
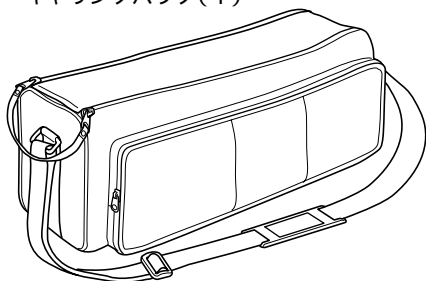
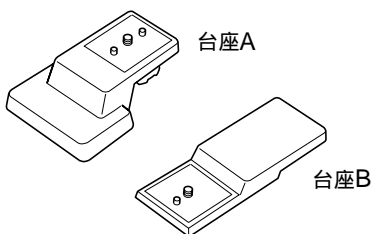
禁止

行為を指示する記号

注意

キットの中身を確かめる

- テレスコープ（1）
- テレスコープレンズキャップ（1）

- 台座（1）

- 目視用接眼レンズ（1）
- 目視用接眼レンズキャップ（前後各1）

- ビデオ用接眼レンズ（1）
- ビデオ用接眼レンズキャップ（1）

- アクセサリーシュー（1）

- キャリングハンドル（1）

- キャリングバッグ（1）

- テレスコープ台座（2）

取り付ける

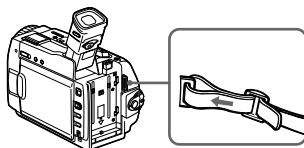
ビデオカメラレコーダーのイラストはDCR-TRV10です。

1 ビデオカメラレコーダーを準備する

お手持ちのビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 ショルダーベルトをはずす。

フィルター、コンバージョンレンズなども取りはずしてください。

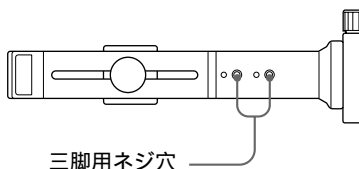
レンズフードの付いているビデオカメラレコーダーをご使用の場合は、レンズフードをはずしてから取り付けてください。

2 バッテリーを取り付ける。

充分に充電したバッテリーパックを取り付けてください。

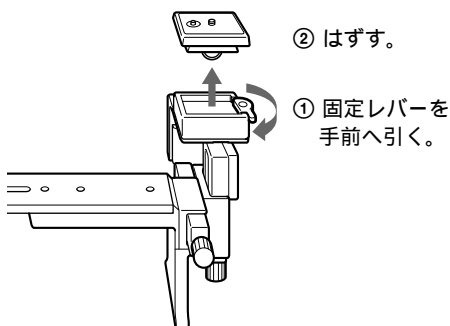
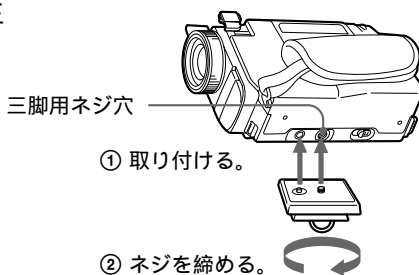
3 カセットを入れる。

2 台座を三脚（別売り）に取り付ける

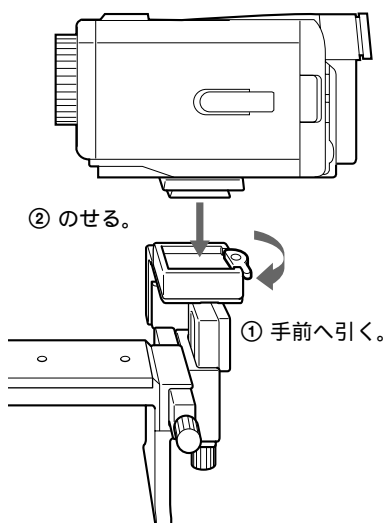
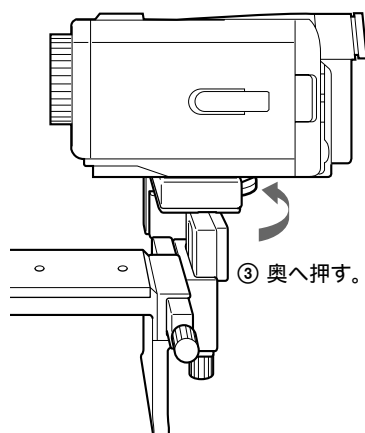
底面の三脚用ネジ穴に三脚を取り付ける。

- 三脚は、ソニー製の大型三脚をお使いになることをおすすめします。
- 取り付けるときは、必ず三脚の脚を開き、固定してから行ってください。

三脚用ネジ穴について
ご使用のビデオカメラレコーダーやバッテリーパックによって重さが異なります。バランスの良い方を選んで、適切な三脚用ネジ穴に三脚を取り付けてください。

3 台座にビデオカメラレコーダーを取り付ける

1 **ビデオカメラレコーダー取り付け台からビデオカメラレコーダー台座をはずす。**

2 **ビデオカメラレコーダー底面の三脚用ネジ穴に、ビデオカメラレコーダー台座を取り付ける。**

3 **ビデオカメラレコーダーをビデオカメラレコーダー取り付け台に取り付ける。**

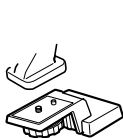
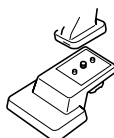
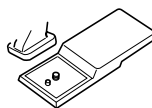
お手持ちのビデオカメラレコーダーに三脚アダプターが付属されている場合は、ビデオカメラレコーダーに三脚アダプターを取り付けてから台座に取り付けてください。

取り付ける（つづき）

ご注意

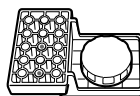
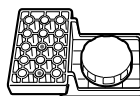
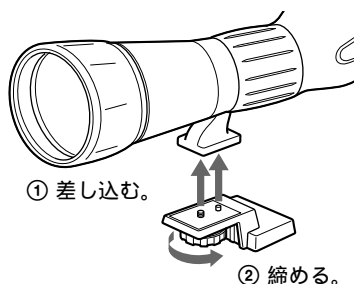
テレスコープを取り付けたビデオカメラレコーダーを持ち運ぶときは、キャリングハンドルを取り付けてください。

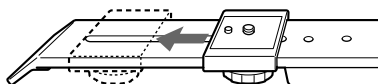
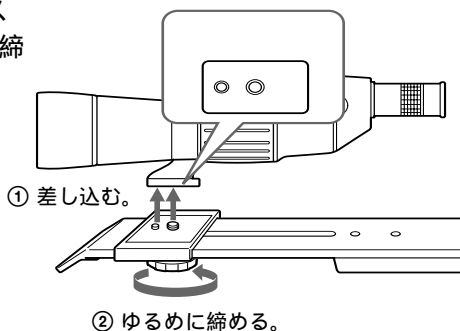
4 テレスコープ台座が必要かどうか確認し、取り付ける

お使いになるビデオカメラによってはテレスコープ台座が必要です。
テレスコープ台座が必要かどうか下の表とイラストでご確認ください。

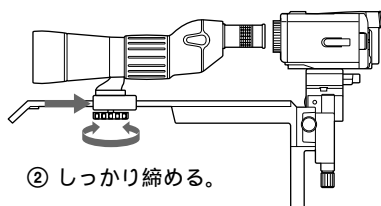
取り付けパターンには、以下の４パターンがあります。ビデオカメラとテレスコープの取り付けかたは、5および6をご参照ください。

取り付ける（つづき）

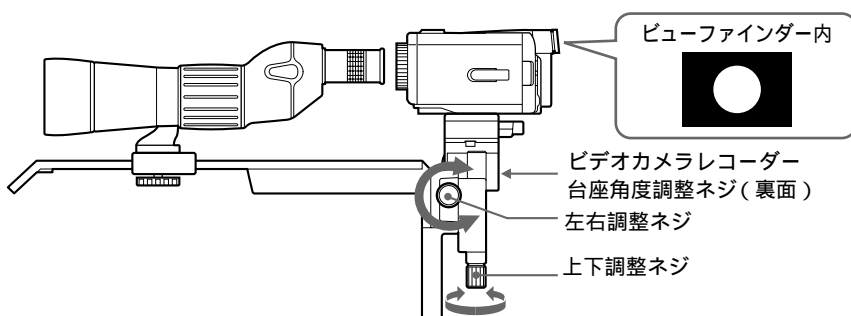
テレスコープにテレスコープ台座を取り付ける。

5 台座にテレスコープを取り付ける

テレスコープにビデオ用接眼レンズが付いていることをご確認ください。
テレスコープにテレスコープ台座が付いているときも、この手順で取り付けてください。

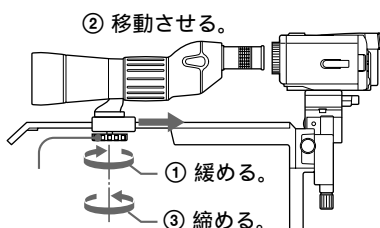
1 **テレスコープ取り付け台を台座の先端へずらす。**

2 **テレスコープの台座用ネジ穴（底面）に、テレスコープ取り付け台のネジを差し込み（①）、テレスコープ取り付けネジをゆるめに締める（②）。**

6 レンズの中心を合わせる（光軸合わせ）

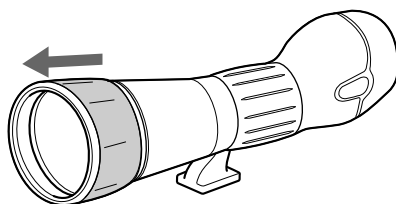
ご使用になるビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **テレスコープ取り付け台をビデオカメラレコーダーのレンズの少し前まで引き寄せ（①）、テレスコープ取り付けネジをしっかり締める（②）。**

2 **ビデオカメラレコーダーをスタンバイ状態にし、ズーミングをW（広角）側いっぱいにする。**

3 **台座の左右調整ネジ、上下調整ネジを回して、ビデオカメラレコーダーのビューファインダー内に見える円形部分が、画面の中央にくるように調整する。**

円が上下に傾いて歪んでいる場合は、ビデオカメラレコーダー台座角度調整ネジで調整してください。

4 **ビューファインダー内の円形が中央にきたら、テレスコープ取り付けネジを緩める（①）。ビデオ用接眼レンズのアイカップがビデオカメラレコーダーに軽く触れるくらいまでテレスコープを移動させたら（②）、再びテレスコープ取り付けネジを締める（③）。**

- ビデオカメラレコーダーによっては、ピント合わせのときにレンズが前後に動くものがあります。そのときは、テレスコープのアイカップとビデオカメラレコーダーのレンズの間を少し離してください。そのときにレンズの隙間から光が入っても、撮影には影響ありません。

本体一体型フードの使いかた

本機には本体一体型フードが組み込まれています。

フードを伸ばした状態で使用すると、対物レンズを保護すると同時に、逆光時の乱反射光を防ぎます。

これで撮影準備は完了しました。

ピントを合わせる

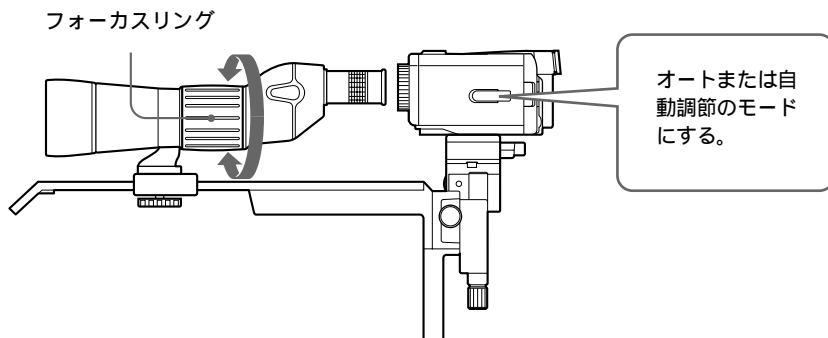
ビデオカメラレコーダーのオートフォーカス機能を使って、自動的にピントを合わせることができます。
ご使用のビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **ビデオカメラレコーダーのモードをオート／自動の状態にする。**

2 **ビデオカメラレコーダーのズーミングをT（望遠）側いっぱいに合わせる。**

W（広角）側になっていると、四隅が暗くなる（ケラレ）など、うまくピントが合わないことがあります。ただし、撮影前は少しW（広角）側に合わせると、被写体が探しやすくなります。

3 **テレスコープのフォーカスリングでピントを合わせる。**

ビデオカメラレコーダーのオートフォーカスが自動的にピントを調節します。

手動で合わせる場合

被写体にコントラストがない場合など（壁や空など）、ピントが合いにくくなるときは、手動でピントを調節してください。

1　ビデオカメラレコーダーを手動でピント合わせできる状態にする。
2　ズーミングをT（望遠）側いっぱいに合わせる。
3　テレスコープのフォーカスリングで調節する。

明るさを調整する

ビデオカメラレコーダーによっては、被写体が明るすぎると、録画された拡大画像が不自然な映像になることがあります。そのようなときは、手動で明るさの調整をします。

1 **ビデオカメラレコーダーを手動調節の状態にする。**

2 **明るさ調整できる状態にし、なるべく明るい方にする。**

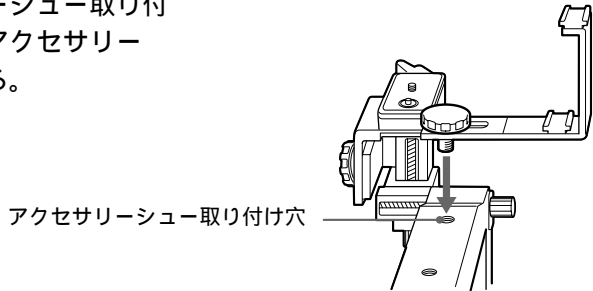
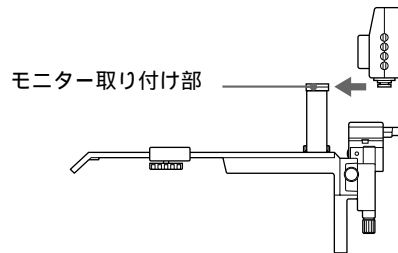
3 **シャッタースピードを調節できる状態にし、通常の速さ（1/60）に合わせてから、だんだんシャッタースピードを速くして明るさを調整する。**

- お使いのビデオカメラレコーダーによっては、手動による明るさ調整、またはシャッタースピードの調節ができない機種があります。その場合は、手動で調節できる機能についてのみ、調節を行ってください。
- フィルターを使用して、光量の調整をすることもできます。ビデオカメラレコーダーのレンズ前面に付ける場合は、そのフィルターネジの合ったものをご使用ください。NDフィルターは、VF-37M、VF-52MAをおすすめします。テレスコープ前面に付ける場合のフィルターは、サイズ67mm（P=0.75）のネジ込み式のもの（市販品）をご使用ください。

モニター（別売り）を使う

ビューファインダーでは被写体が確認しにくいときは、液晶カラーモニターをアクセサリーシューに取り付けて使用すると便利です。ビューファインダー内の撮影映像をモニター画面で見ることができ、振動によるブレも避けられます。別売りのモニターには、XV-M30をご使用になることをおすすめします。

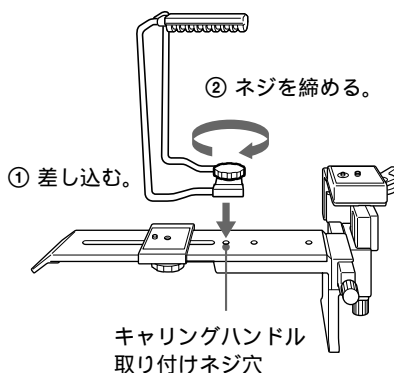
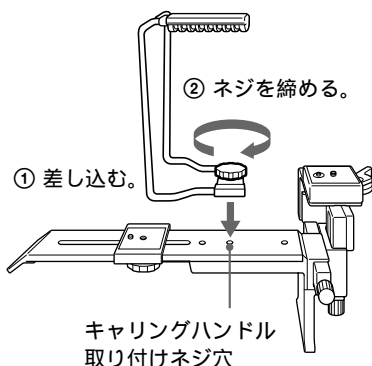
モニターを取り付ける

1 **台座のアクセサリーシュー取り付けネジ穴に付属のアクセサリーシューを取り付ける。**

2 **アクセサリーシューのモニター取り付け部にモニターを取り付ける。**

- アクセサリーシューには、別売りの望遠マイク（ECM-PB1Cなど）を取り付けることもできます。
- ブレのない、より安定した映像を撮影するためには、モニターと一緒にリモコンをご使用ください。

キャリングハンドルを使う

テレスコープを持ち運ぶときは、付属のキャリングハンドルをお使いください。

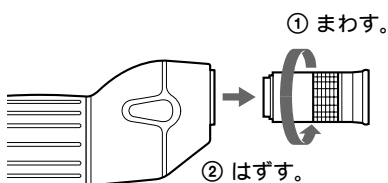
台座のキャリングハンドル取り付けネジ穴にキャリングハンドルを取り付ける。

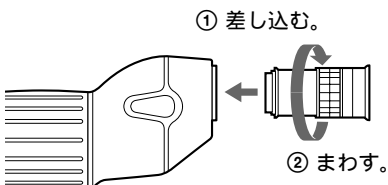
キャリングハンドル取り付けネジ穴は2つあります。撮影するときにキャリングハンドルが邪魔にならないように、お手持ちのビデオカメラレコーダーにあわせてどちらかの穴を選び、取り付けてください。

ご注意

本機にビデオカメラレコーダーを取り付けて持ち運びするときは、必ずキャリングハンドルをお持ちください。ビデオカメラレコーダーのグリップベルトを持って運ぶと、ビデオカメラレコーダーが破損する場合があります。

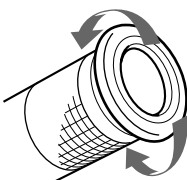
テレスコープを直接覗いて使う

付属の目視用接眼レンズを使って、ビデオカメラレコーダーを使わずに直接目をあてて覗くことができます。

1 **テレスコープに取り付けられたビデオ用接眼レンズをはずす。**

ビデオ用接眼レンズをはずす。

2 **付属の目視用接眼レンズを取り付ける。**

付属の目視用接眼レンズを取り付ける。

眼鏡をかけて覗くとき

アイカップを外側に折り返してください。目視できる視野が広くなります。

ご注意

- 接眼レンズを使用しないときは、レンズの保護のためにキャップを付けておいてください。
- 接眼レンズは湿気の少ないところで交換してください。

ご使用後は

- 接眼レンズを使用しないときは、キャップを付けておいてください。
- テレスコープを台座から取りはずすときは、テレスコープとビデオカメラレコーダーの間に距離を取ってから行ってください。
- テレスコープやビデオカメラレコーダーを取りはずすときに、三脚が倒れることがあります。ご注意ください。

取り扱い上のご注意とレンズのお手入れ

取り扱い上のご注意

次の場所でのご使用は避けてください。

– 高温多湿な場所
– 炎天下

結露やビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。また、直射日光のあたる場所におく場合は、タオルなどを上からかけて、テレスコープやビデオカメラレコーダーを保護してください。

ビデオカメラレコーダーについて

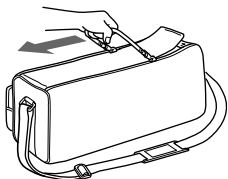
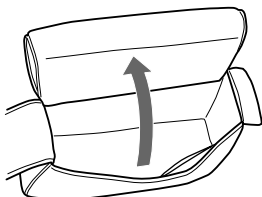
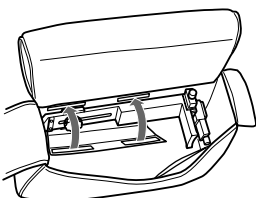
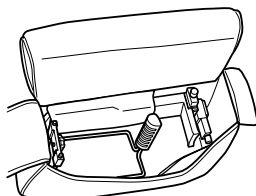
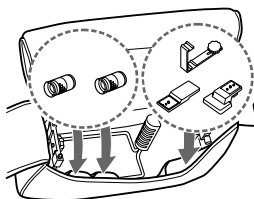
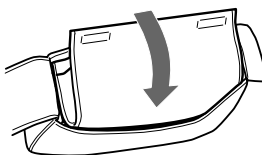
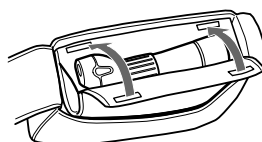
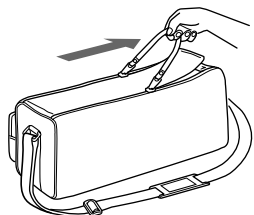
バッテリーはできるだけ容量の多いものをお使いください。また、お使いになる前に充分に充電をしておいてください。

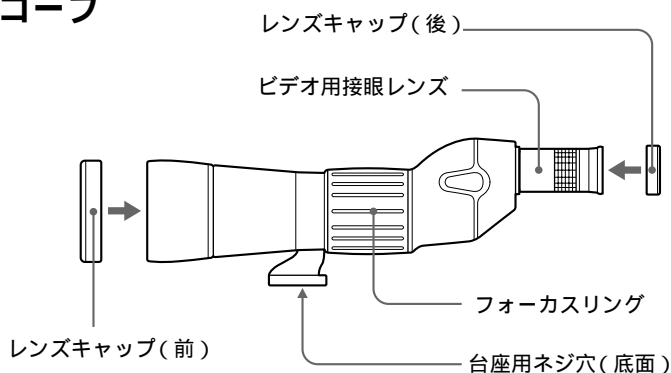
レンズのお手入れ

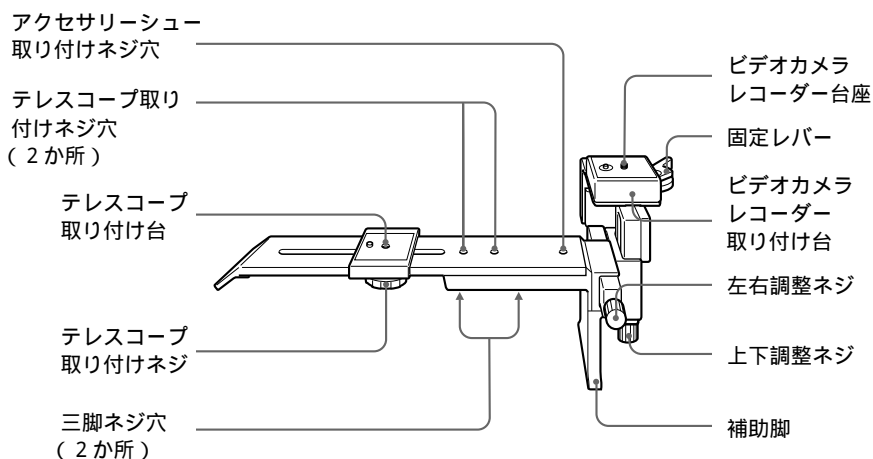
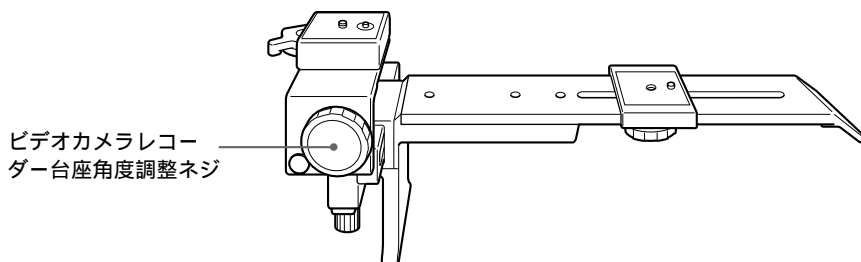
レンズ表面についたホコリはブローブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。指紋、その他の汚れは中性洗剤と柔らかい布で拭き取ってください。別売りのクリーニングキットKK-LC1をお使いになることもおすすめします。

キャリングバッグの使いかた

キットを収納して持ち運ぶときは、付属のキャリングバッグをご使用ください。

1 ファスナーを引き、ふたを開ける。

2 テレスコープ入れを外側に出す。

3 台座を入れる。
バッグ底に装着したシートの上にのせ、台座先端をシートにくるんでマジックテープでとめる。

4 キャリングハンドルを入れる。
把手を右側にして仰向けにねかせて収納する。

5 アクセサリーシュー、テレスコープ台座、接眼レンズを入れる。

6 テレスコープ入れを内側に入れる。

7 テレスコープ入れにテレスコープを入れて、マジックテープでとめる。

8 ふたを閉じ、ファスナーを閉める。

各部のなまえ

テレスコープ

台座

右側面

左側面

主な仕様

倍率

ビデオ用接眼レンズ使用時　10倍
目視用接眼レンズ使用時　20倍

形式

ポロプリズム式

対物レンズ有効径

60 mm

フィルター取り付けネジ径

ø67 mm（P=0.75mm）

合焦範囲

∞〜5 m

最大外形寸法

約80×122×336 mm
（幅/高さ/奥行き）（ビデオ用接眼レンズを含む）

質量

テレスコープ本体
約1,180 g（ビデオ用接眼レンズを含む）
台座
約950 g

付属品

台座（1）
目視用接眼レンズ（1）
目視用接眼レンズキャップ（前後、各1）
ビデオ用接眼レンズ（1）
ビデオ用接眼レンズキャップ（後、1）
テレスコープレンズキャップ（前、1）
キャリングバッグ（1）
キャリングハンドル（1）
アクセサリーシュー（1）
テレスコープ台座（2）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 保証書は日本国内のみ有効です。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

当社では高倍率テレコンバージョンレンズキットの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

● 型名：VCL-FS2K
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ日